

## 学習・教育到達目標

アーキテクト・プログラムの教育目標は、環境設計分野に必要な①基礎的能力を高め、②4つの想像力を培い、③実践的な解決を提示する能力を有する人材を育成することです。これらの具体的な内容は以下のとおりです。

### ①基礎的能力

- 1) 自主的・継続的学習能力：多様化する環境に対し、自主的かつ継続的に学習する能力。
- 2) 調査や文献読解力：野外調査及び文献資料をもとに、環境設計に係わる対象を正確に把握する能力。
- 3) 外国語の能力：外国語の文献理解と環境設計の分野で国際的に通用するコミュニケーション能力。
- 4) 科学的思考力：数学、自然科学及び情報技術等の科学的分析と応用を用いて環境設計に係わる諸現象のモデル化や最適解を導き出す能力。
- 5) 表現能力：文章表現や情報技術等を活用し、計画・設計の内容を正確に他者に伝えることのできるプレゼンテーション能力。
- 6) 議論能力：論理性に基づいた口頭発表力、討議等において自己の考えを他者に的確に伝えるコミュニケーション能力。

### ②4つの想像力

- 1) 空間的な想像力：あらゆる存在や現象が実際の環境、すなわち具体的な場所や地理的な広がりの中に展開することをイメージしようとする志向とその能力。
- 2) 時間的な想像力：現代の環境が、過去からの遺産で構成されていることを認識しつつ、そのなかで未来志向的な提案をしようとする意欲とその能力。
- 3) 他者についての想像力：社会が異なった歴史や文化に属する多様な人々から構成されていることを自覚し、社会的な少数派の文化的尊厳に配慮しながら、共生や平等、構成の理念に従った設計を行う能力。
- 4) 自然の一部としての自己についての想像力：生き物としての自分を常に意識し、人間や生物の命がいかなる自然の恵沢によって成立しているかについて繊細な感覚を持ちながら、自然生態系への尊敬の念に基づいた設計を行う能力。

### ③実践的な解決能力

- 1) 設計能力：用途、機能、美しさ、快適性を踏まえ、対象のもつ種々の条件を考慮しながら、環境にとって適切、かつ具体的な空間を提示する能力。
- 2) 計画・制度立案能力：環境設計の意味を理解し、社会の要請を踏まえ、既存の制度を前提としつつ、持続可能な社会を達成するための計画とその法規制を含めた制度を立案する能力。
- 3) 組織化の能力：適切な環境を維持するために、制度や計画の継続性を考慮して、人的資源を有効に活用する組織づくりの能力。